



鳥居さくや 県政報告

と り い

福島県議会議員

所属会派 県民連合議員会 〒960-8670 福島市杉妻町16 発行：鳥居さくや

2018. 夏号 VOL.5

6月10日、天皇皇后両陛下ご臨席を仰ぎ、全国植樹祭が南相馬市で行われました。天皇陛下が、全国植樹祭に臨まれるのは、今回が最後となります。

県内外から約6,000人が集まり、クロマツ、アカマツなどを植樹し、成功裏のうちに終わることが出来ました。この苗木が、ながい時を経て大きな大木となり、地域に住む多くの方々に安心と安全をもたらせてくれることだと思います。私も政治家として、未来に花咲く施策の種を植えなければならない、改めて強く思う次第であります。

2月議会に引き続き、食品ロスなど身近な問題をテーマに13問、一般質問をさせて頂きました。



6月議会

福島県議会の6月定例会は6月21日から7月6日まで開かれ、約22億5500万円を追加する本年度一般会計補正予算案など34議案を原案通り可決して閉会しました。

追加予算の主なものは、Jヴィレッジの全面再開を見据えた利活用法の検討会設置や全天候型練習場の指定管理を委託する費用などです。

2017（平成29）年度一般会計の決算見込みも示されました。歳入は1兆6237億円に対し、歳出は1兆5569億円となりました。歳入、歳出の差額668億円のうち、595億円は本年度事業に繰り越しました。

また、私が所属する企画環境委員会では、以下のことを議論しました。

<企画調整部>では、Jヴィレッジの利活用方策を検討するための経費などが計上されました。今夏にプレオープン、来春にはグランドオープンに控え、震災前とは異なる新しい発想での利活用が求められます。

<原子力損害対策>では、農林業の風評賠償について協議への取り組み、公共財物の賠償方針への対応について報告がありました。適切な賠償が速やかに行われることが求められます。

<避難地域復興局>では、特定復興再生拠点区域の整備、避難所支援など現状についての報告がありました。復興公営住宅については、計画に掲げた4,890戸のうち、4,707戸が完成したとのこととあります。

<文化スポーツ局>では、本県でのオリンピック聖火リレーの実施日数が3日間に決定し、実行委員会の設置を決めました。聖火リレーが福島の地を駆け抜ける日を、楽しみに期待したいと思います。

<生活環境部>では、中間貯蔵施設の取得状況、また、イノシシなどの野生鳥獣対策の新たな取り組みについての報告を受けました。イノシシ管理計画策定後の3年間の捕獲実績が当初計画を上回っておりますが、目撃状況、農作物被害などを鑑み、今年度、現計画を1年前倒しで新たな策定することになりました。

6月議会は、2月の当初予算、事業などが適切に遂行されているか、確認することが主な業務であります。

内堀知事提案要旨

内堀雅雄知事は議会開会に当たり所信を表明しました。要旨は【下記の通り】です。また、10月11日告示、同28日投開票で行われる知事選で、「全身全霊で挑戦を続ける」と述べ、再選を目指して出馬することを表明しました。

【避難地域の復興再生】

避難指示が解除された町村などでは、小中学校が再開され、救急を担う病院が開院するなど、復興は進んでいる。Jヴィレッジも7月28日に一部施設が再開される。

【環境回復】

第二原子力発電所について、東電から全基廃炉の方針が示された。この取り組みが着実に進められるよう、国と東電に求めていく。

【産業政策】

国や福島イノベーション・コースト構想推進機構などの関係機関と緊密に連携し、地元や県全体の復興・創生を推進する。

【風評・風化対策】

全国新酒鑑評会で金賞受賞数6年連続日本一となったほか、県産品の輸出が過去最高を更新するなど、これまでの努力が成果として表れてきた。

【県民の健康増進】

受動喫煙対策、福祉サービスの充実に向けた人材の育成、確保に努める。

【農林水産業の再生】

農産物の安全性を評価する認証制度「GAP」の取得数は着実に増えており、全権的な広がりを見せている。さらに沿岸域の水産業の復興に力を入れる。

【子ども・若者育成】教育の役割が極めて重要。地域の特性を生かした魅力ある高校づくりやSNSを活用した相談体制の整備などに取り組む。

【地域創生・人口減少対策】

移住世帯数が増えており、希望の兆しが見える。ふくしま創生総合戦略に基づき、さまざまな施策を行う。

【東京五輪・パラリンピック】

福島の復興が進んでいる姿を国内外に発信する。

四方山話

どうした？うつくしま
ふくしま！

ごみのリサイクル率というものがありません。これは、リサイクルされた一般ごみの割合をいいます。そもそも、このリサイクル率に関して、日本は欧州の国々、アメリカ、韓国にも差を付けられている状況であります。その日の中でも、我が福島県のリサイクル率はどのようになっているのか？数値で言うところ、13.9%、全国51位であります。今回、私が質問で取り上げた、3010運動などを通じて、個人の意識を変えていくこと、また、社会全体でシステムとして取り組むことが必要であります。どちらにしても、この様な不名誉な順番を如何に上げていくか？県民皆さんで考えなければいけません。

